



平成4年度 日本生物工学会 創立70周年記念大会 後記

日本醸酵工学会は、平成4年9月2日付けをもって、日本生物工学会と名称を改めた。平成4年度大会は、創立70周年記念大会でもあり、大阪市国際交流センターにて平成4年11月16日（月）より19日（木）まで、盛大に行われた。

まず初日の16日は、午前中に今年度の授賞式を行い、生物工学賞（外村健三氏および大嶋泰治氏）江田賞（伊藤 清氏）、斎藤賞（築瀬英司氏）、照井賞（Konstantin Konstantinov氏）につづき本年度新設された技術賞が月桂冠株式会社の今安 聡、杉並孝二、安部康久、川戸章嗣、大石 薫の5氏に授与された。また岡田弘輔前会長、中尾義雄前副会長を名誉会員に推戴し、柴野寛子氏（学会事務局）を永年勤続者として表彰した。つづいて外村健三先生による「環境・資源微生物の機能開発」および大嶋泰治先生による「酵母の分子育種に関する研究」と題する生物工学賞受賞講演が行われた。

午後は70周年記念式典、新学会名称披露が行われた。永井会長から式辞が述べられ、つづいて会長（名称変更検討委員会委員長）から名称変更経過について、また小林 猛副会長からは70周年記念事業について報告された。関連学会代表として、日本農芸化学会より山田秀明副会長、日本化学会の西島安則次期会長、化学工学会の山田幾穂副会長、バイオインダストリー協会より福井三郎会長から、それぞれ丁寧な祝辞が述べられた。記念講演会では谷口維紹先生（阪大細胞生体工学センター）の「サイトカインによる細胞増殖の調節機構」、今中 宏先生（藤沢薬品工業株式会社）の「微生物の二次代謝産物と私」、Henry Y. Wang 先生（ミシガン大）の「Current and future bioprocessing needs in new recombinant proteins and useful therapeutics production」の3題が行われた。

同日夜は、“なにわ会館”にて記念祝賀会が催された。招待者を含め約300名が出席し、会長の挨拶、産

業界を代表して本会顧問のサントリー株式会社、佐治敬三会長（代読）、学界代表として岡田弘輔先生の祝辞ののち、日本酒樽の鏡開きを行い、千畑一郎・田辺製薬株式会社社長の音頭による乾杯を皮切りに宴が始まった。約2時間、賑やかな語らい、議論、食事で懇親を深め、中村以正・次期大会実行委員長（筑波大）の挨拶、小林副会長の閉会の辞にて終了した。

第2日から第4日目までシンポジウム31題、一般講演425題が6会場で並行して発表された。大会参加者は事前登録者約900名、当日登録者600名、計1500名であった。一般講演は昨年度から全てオーバーヘッドプロジェクター（OHP）による発表になったが、今年度は昨年よりはスムーズに運営されていた。なおさらにOHPの利点を生かした原稿の作製が望まれる。開催以前から懸念されていたことであったが、会場が既に手狭で、特にシンポジウム「微生物による生分解性プラスチックの生産と分解」、「醸造のための感性計測と知識システム」、一般講演「醸造」、「生物化学工学」および「生物プロセス制御」の会場には参加者があふれる状況であった。

大会第2日の夜は、初めての試みとして、評議員、理事、幹事、支部委員合同の懇親会を催した。これは日頃の学会活動への協力に対してお礼を申し上げるとともに、学会名称変更を機に将来の学会運営、活動強化についての意見交換を目的としたものであった。約80名の参加のもとに、随所で前向きな活発な議論が湧き、出席者の本会に対する愛着に心強いものが感じられた。今回の展示会には27社の出展があり、それぞれにかなりの成果が見られたが、学会発展のためには今後さらに多くの企業の参加が望まれる。

以上が平成4年度大会の要約である。発表および討論にご参加いただいた会員の皆様、準備と運営にご尽力いただいた実行委員、担当地区の大阪大学工学部・薬学部の先生方をはじめ学生諸君に感謝します。なお、次年度大会は筑波大学で開催されることになった。

平成4年度大会実行委員長 大嶋 泰治

平成4年度 第2回編集委員会議事録

1. 日 時 平成4年11月17日(火)
12時30分～13時30分
2. 場 所 大阪国際交流センター会議室
(大阪市天王寺区上本町8-2-6)
3. 出席者 永井 史郎・今中 宏・小林 猛
*天知 輝夫・飯島 信司・今中 忠行
加藤 滋雄・北本勝ひこ・児玉 徹
塩谷 捨明・清水 昌・*正田 誠
田中 秀夫・*田中 渥夫・戸田 清
原島 俊・室岡 義勝

*印 委任状

4. 議事の経過および結果
今中忠行編集委員長が議事の進行をつとめ、配布資料にもとづいて次の通り協議した。
 - 1) 編集状況：平成4年度上半期の和文誌および英文誌の原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告し、承認された。
 - 2) トピックス委員の委嘱について：平成5年度トピックス委員を原案通り委嘱することを決めた。未確定の委員については、田中渥夫和文誌編集委員長に一任することにした。
 - 3) 和文誌の名称変更について：学会名称変更にともない和文誌の名称を「生物工学会誌」および略称を「生物工学」とすることについて協議した結果、原案の通り決めた。
 - 4) その他：
 - (1) 照井賞受賞者 KONSTANTIN 氏の論文は、英文で和文誌に掲載することを決めた。
 - (2) エルゼビア出版社より、英文誌の印刷・校正・製本・発送の業務を代行したいとの申し出があり、購読者増につながることを考慮して継続検討することにした。

平成4年度 第3回理事会議事録

1. 日 時 平成4年11月18日(水)
12時30分～13時30分
2. 場 所 大阪国際交流センター会議室
(大阪市天王寺区上本町8-2-6)
3. 出席者 永井 史郎・今中 宏・小林 猛
*天知 輝夫・今中 忠行・石崎 文彬
児玉 徹・新名 惇彦・鈴木 智雄

菅 健一・*田中 渥夫・谷 吉樹
都河龍一郎・富田 房男・土佐 哲也
戸田 清・中村 以正・西谷 尚道
古屋 晃・室岡 義勝

監 事 布川弥太郎・山田 靖宙

*印 委任状

4. 議事の経過および結果
第1号議事 平成4年度上半期事業報告について
永井会長の指名により担当理事は、配布資料をにもとづいて次の通り報告した。
 - 1) 庶務関係(新名惇彦庶務担当理事)
平成4年度上半期の事業、会議開催状況および会員移動状況について報告した。
 - 2) 編集関係(今中忠行編集担当理事)
平成4年度上半期の英文誌および和文誌の原稿受付状況ならびに投稿数と掲載数について報告した。また、昨日開催された編集委員会の決議事項について下記の通り報告した。
 - (1) 平成5年度のトピックス幹事・委員を委嘱したこと
 - (2) 和文誌の名称を「生物工学会誌」に改め略称を「生物工学」とすること
 - (3) エルゼビア出版社から、英文誌の印刷・出版を代行したいとの申し出があり、条件等を継続協議中であること
 - 3) 会計関係(菅 健一会計担当理事)
平成4年度上半期の経常会計の収支および70周年記念事業の収支ならびに技術賞基金の収入状況を報告した。

第2号議事 創立70周年記念事業報告ならびに
募金の剰余金処分案について

小林副会長は記念出版、記念講演の報告ならびに募金および技術賞基金の現状について報告した。また、記念事業のための募金にも剰余金があれば本会計に繰り入れることの承認を要請した。

議長は、募金の剰余金処分案について諮ったところ、全員一致で本会計に繰り入れることを賛成した。

第3号議事 学会名称変更の経過報告について
永井会長は、本会の名称変更の経緯について2度の臨時総会の開催をはじめとして、会員によるアンケート徴収や名称変更検討委員会の会合等を背景に文部省と交渉した結果、9月2日に名称変更の認可を得たことを報告した。

第4号議事 次期評議員候補者推薦委員の選出について

細則第8条の規定により、推薦委員の選出について諮ったところ、会長、副会長、支部長および常任理事で構成することを決めた。

第5号議事 平成5年度大会について

中村以正平成5年度大会実行委員長は、平成5年度大会の開催日が筑波大学の都合により12月7日～9日に変更されたこと、および変更により会場は1つの建物でなく2箇所に分かれることについて報告した。また、会場を一ヶ所にする場合は、ポスターセッションを取り入れることも検討して欲しいと要望した。

以上の大会の日時・場所について協議した結果、火急のことであり現状では筑波大学で開催せざるを得ないが、他大学の会場を含めて会場・会期を検討することにした。

平成4年度 第2回評議員会議事録

1. 日 時 平成4年11月19日(木)

12時30分～13時30分

2. 場 所 大阪国際交流センター会議室

(大阪市天王寺区上本町8-2-6)

3. 出席者 荒井 基夫氏他 23名、委任状 36名

4. 議事の経過および結果

黒木事務局長は、評議員の定足数(本人出席23名、委任状36名)を確認した後、議長の選出について諮ったところ、大嶋泰治氏を全員一致で選出した。続いて議長および会長の挨拶があり、議事録署名人に三浦喜温、竹村成三の兩人を指名して議事に入った。

第1号議事 平成4年度上半期事業報告承認の件

大嶋議長の指名により担当理事は、配布資料にもとづいて次の通り報告し承認された。

1) 庶務関係(中村以正庶務担当理事)

平成4年度上半期の事業、会議開催状況および会員移動状況について報告した。また、昨日開催された理事会の決議事項について報告した。

2) 編集関係(今中忠行編集担当理事)

平成4年度上半期の英文誌および和文誌の原稿受付状況ならびに投稿数と掲載数について報告した。また、去る17日に開催された編集委員会の決議事項について報告した。

3) 会計関係(菅 健一会計担当理事)

平成4年度上半期の経常会計の収支および70周年記念事業の収支ならびに技術賞基金の収入状況について報告した。

第2号議事 創立70周年記念事業報告ならびに募金の剰余金処分案について

小林副会長は記念出版、記念講演の報告ならびに募金および技術賞基金の現状について報告した。また、記念事業のための募金に剰余金ができれば本会計に繰り入れることの承認を要請した。

議長は、募金の剰余金処分案について諮ったところ、全員一致で本会計に繰り入れることを賛成した。

第3号議事 学会名称変更の経過報告について

永井会長は、本会の名称変更の経緯について、2度の臨時総会をはじめとして会員によるアンケートの徴収や名称変更検討委員会の会合等を背景に文部省と交渉した結果、9月2日名称変更の認可を得ることを報告した。

第4号議事 次期役員候補者推薦委員の選出について

細則第8条により、推薦委員の選出について諮ったところ、次の13名を委員に選任した。

大嶋泰治、左右田健次、山田秀明、山崎真狩、荒井基夫、辻阪好夫、三浦喜温、大林 晃、新家 龍、山根恒夫、竹村成三、嶋谷幸雄、橋本直樹